

お客様事例紹介

富士通グループは、ITを活用したシステムの提供を通じて、ビジネスや社会生活を支えています。ここでは、富士通グループの構築したシステムがどのような形でお客様に使われているのかをご紹介します。

より美しくーカネボウ

何千もの販売員を即戦力としてスキルアップを図るにはどうするのか。化粧品販売においては、商品の特徴や効能などの説明ができることはもちろん、お客様に合った化粧品を提案することが、販売員にとって必要不可欠なスキルとなっています。

富士通はカネボウと共同で、全国のビューティカウンセラー（BC）7,000名が、Pocket LOOX（PDA：携帯情報端末）を用いて、旬の話題やメイクアップテクニック、売り方のポイントなどを情報共有できる仕組みー「BCナレッジシステム」ーを開発しました。このシステムは、動画や音声を使用したわかりやすいコンテンツー「あなたへ」「旬の話題」「ノウハウ」の三つーで構成されており、ビューティカウンセラーはマニュアルを読まなくても、簡単に操作方法を習得することができます。また、ビューティカウンセラーの販売キャリアや派遣先の業態、地域によって、受信する情報が個々に異なるため、お客様の様々な要望に応えることができます。このシステムの導入によって、販売に関するナレッジマネジメントが強化され、迅速な情報伝達と内容の周知徹底が可能となりました。



Pocket LOOX





より便利に—シェブロン・テキサコ

シェブロン・テキサコは、米国第2位、世界で第5位の石油業界大手の企業です。2003年2月、富士通は全世界のシェブロン・テキサコの保有する25,000のサービスステーションのうち、約3分の1のコンビニエンスストア併設型のサービス・ステーションについて、新たにPOSシステムを納入する契約を締結しました。導入予定の富士通のTeamPoS2000システムは、業界標準のインテル・アーキテクチャを採用し、システムの拡張や変更が容易に行えるほか、システムトータルでのコストを削減できることが特長です。

シェブロン・テキサコは、コンビニエンスストア併設型のサービス・ステーションに、この世界標準仕様のPOSシステムを導入することによって、一層効率化を進め、お客様のニーズに応える商品・サービスをグローバルに提供していきます。

指一本で簡単操作—英国ポスト・オフィス

郵便の自由化が進む欧州では、旧国営郵便局でも新規参入企業と競争しながら全国の郵便局を維持する必要があります。Fujitsu Servicesは、1週間に2,800万人もの人が利用する英国ポスト・オフィスの電子バンキングサービス・システムの運用、保守サービスについて、今後7年間一括受託する契約を締結しました。このシステムは、全国17,000ヶ所の郵便局をつなぐシステムで、預貯金の引き出しや各種料金の支払いから、郵便の配達、旅行サービスまで、170種類にも及ぶ英国ポスト・オフィスの多様なサービスを支えています。また、XML (eXtensible Markup Language)、PKI (Public Key Infrastructure) といった、最新でセキュリティに優れたソフトウェアのテクノロジーを使用しているほか、



英国ポスト・オフィス

指一本で簡単に操作できるタッチスクリーンを採用しています。このため、住民にとっても待ち時間が短縮され、快適にサービスを受けることができるようになりました。

グローバル展開を加速—パナソニック モバイルコミュニケーションズ

国内外で急速に普及が進み、市場環境の変化が激しい携帯電話を安定して消費者に届けるためには、部品の購入、生産、在庫、販売の状況などを一貫して把握できることが必要不可欠となっています。「新しいコミュニケーションライフを世界のお客様に！」を使命に、携帯電話事業のグローバル展開を手がけるパナソニック モバイルコミュニケーションズでは、富士通の統合業務パッケージソフトの「glovio.com」を業務の共通プラットフォームとして、世界中に展開する生産拠点に適用することで、生産活動の効率化を実現しました。今までのシステムでは、生産管理、材料調達、販売管理などのシス

テムが個別に構築され、各システムのデータ連携が行うことができず、在庫の把握に多大な時間と手間がかかっていました。しかし、「glovio.com」の採用により全体的な情報連携が図られ、変化の激しい携帯電話の市場環境を迅速に生産活動に反映させ、グローバルに最適な生産管理を前進させています。例えば、日本で主要部品の全体管理を行い、北京で生産し、チェコでお客様ごとの要望に合った最終梱包を終えたのち、欧州市場へ出荷するという形で、生産のグローバル連携を進めています。



歴史、文化を永久保存－国立国会図書館関西館

国立国会図書館は、日本国内で刊行される出版物を広く収集し、文化財である出版物の保存に努めるとともに、国会・行政・司法の各部門および国民に対してサービスを行っています。年々増加する図書館資料に対応し、充実した図書館サービスを提供するため、2002年10月には関西文化学術研究都市（京都府）に、約600万冊の収蔵能力をもつ国立国会図書館関西館をオープンし、富士通が構築した電子図書館システムの運営を開始しました。このシステムには、明治期刊行図書をインターネットから閲覧できる「近代デジタルライブラリー」や、ホームページ上の各種データベースへのリンクが提供される「データベース・ナビゲーション・サービス（Dnavi: Database Navigation Service）」のほか、Web情報を文化資産として将来の世代のために保存する「インターネット資源選択的蓄積実験事業（WARP: Web Archiving Project）」の機能が含まれており、「非来館型」の利用に適した電子図書館の実現を支援しています。



受付前ロビー



閲覧室



Webサイト